

現地法人で集めた海外顧客の声で製品開発 地域の有機農業と茶の輸出事業を振興

当社は1946年創業の製茶業である。1986年に全国茶審査技術競技大会で農林水産大臣賞を受賞した。1998年に米国へ向けて輸出事業を開始、2005年2月に米国シアトルに現地法人を設立し、現在では世界20か国以上の国々に日本茶を輸出している。最近、米国を端とする抹茶ニーズの高まりを受け、海外への抹茶・煎茶輸出強化のため、認証規格を積極的に取得し、2012年9月有機食品認証取得、2014年2月コーシャ認証取得、2014年3月FSSC22000認証取得、と先駆的な取組を行っている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 静岡県島田市横岡242-1 | ● 設立 | 1946年 |
| ● 電話/FAX | 0547-46-2554/0547-45-3151 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.sugimotojapan.com/ | ● 従業員数 | 16人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 杉本 博行 | | |



米国現地法人を拠点に各国の顧客と直接商談、販路開拓実現

当社は、2005年にシアトルに現地法人Sugimoto Tea Companyを設立し、米国等海外での営業活動を迅速に行う体制を築いた。米国人社員を雇用し、現地バイヤーとの商談を促進するため、現地商習慣に合わせた展示会を意欲的に行った。毎年10回以上の海外展示会に出展し、各国の顧客と直接商談を行ってニーズを直接吸収し、商品開発に役立ててきた。また、現地倉庫を保有し、受注後即座に出荷できる体制を築いた。その結果、世界20か国以上への有機抹茶・煎茶の輸出に成功し、業績を拡大した。



シアトルを拠点に世界20か国以上に輸出

有機てん茶生産農家との提携

同社は、地元の有機てん茶(抹茶の原料)製造企業と全量買い取り契約を結び、同社向けの工場が建設され、年間80トンの有機てん茶供給体制を構築した。その結果、その工場の仕入先である有機茶葉生産農家の経営が安定し、茶の有機栽培面積を25ヘクタールまで広げることができた。これにより、同社の川上に位置するてん茶製造企業と茶葉生産農家にまで経済効果が波及し、地域資源である「茶」の活用が、地域経済活性化の模範事業に発展した。同社の果敢な需要創造が、製茶産業の持続可能性を高めた。



茶農家と茶問屋の強い連携体制

有機抹茶の高付加価値化

同社は、海外向け有機抹茶の高付加価値化のために、製造品質向上と、各種認証に対応した品質管理に注力している。製造品質向上のために、(A)抹茶製造機械とメッシュ篩(ふるい)工程を一体化させた独自製造工程構築、(B)顧客ニーズに対応する3種類のメッシュ篩(ふるい)の使い分け、(C)きめ細かい300メッシュ篩(ふるい)の使用、等の工夫を凝らしている。また、FSSC22000、はじめ、各国の品質管理ニーズに対応する各種認証規格を積極的に取得した。



数々の国際認証を満たす品質管理体制